

1-7 試験研究機関及び大学における調査研究

機関名	研究テーマ	担当課
府立公衆衛生研究所	・排水処理水再利用のための高度処理 -環境微生物による脱臭化調査研究 -環境微生物による脱硫化調査研究 -生活系汚水の効率的処理方法に関する研究 -水処理における有用微生物の探索 -水質の自動分析 -着色微生物による脱色処理方式の研究 -環境変異原に関する研究-オゾン化と生成変異原性- -燃焼-熱分解による研究 -環境中化学物質による免疫応答機能低下の成因に関する研究	病院課
公衆衛生部 環境衛生課	・稻作関連農業に関する研究 -食品等に含まれる残留農薬・微量有機氯農薬等と生息条件- -食品中の残留農薬の実態とその分析方法の改良と慢性毒性に関する研究 -有機塩素化合物による食品や人体汚染と慢性毒性影響に関する研究 -家庭内殺虫剤による居住者汚染とその防止方法に関する研究	食品衛生課 食品化学課
労働衛生部	・職場環境中の発がん物質の検索とその検査研究 -環境有害物質の生体作用に関する免疫学的検討	
美事指導部 公害衛生室	・各種農薬中の残留農薬の実態調査 -大气汚染物質の健康影響(気道アレルギー反応)に関する実験的研究 -室内空気汚染の健康調査に関する調査研究	
府公害監視センター	・降下ばいじんの測定 -酸性雨・酸性霧に関する調査研究 -乾性沈着による接触カルシウムの可溶化の影響評価 -大気中の強酸性成分に関する研究 -光化学大気汚染物質等による複合影響調査(植物被害調査) -MBOによる大阪港の蓄栄養化調査 -大阪港における底泥中の重金属調査 -固相抽出法に関する研究 -環境中の揮発性有機化合物質に関する調査研究 -温室内空気体等モニタリング調査 -化学物質環境汚染実態調査 -大气中未規制物質の分析方法に関する調査研究 -浮遊粒子状物質の発生機構・組成に関する調査研究 -有機化合物質による環境教育の定量化とその影響の評価手法の検討 -地下水環境基準及び土壤基準に係る調査手法等の基礎的検討 -ゴルフ場周辺における農薬等の水質調査 -未規制化学物質の分析法の確立調査	調査室
	・道路交通事故低減及び効率的調査 -道路交通法による歩道交渉障害予測システムの整備 -帰属要索法による歩道交渉障害の発生原因とその相関関係等の解析	監音検査課
	・太陽光発電システムの普及促進 -インバータネットワークデータの利用によるオーフンスペースの効用の調査研究 -リモートモニタリングシステムの普及及促進	企画室
	・大阪府における食糧供給・消費による望葉・リン酸根の試算	

機関名	担当課	研究テーマ
府立 産業技術総合研究所	生産技術部 システム技術部	<ul style="list-style-type: none"> ・工業排水中のホルムアルデヒドの分解とその定量法の検討 ・環境負荷減に向けた農業用編維加工技術の開発 ・低NOx高負荷バーナーの開発 ・農業物の體素利用による施肥機能部品生産の育成と環境保全・淨化 ・ナノ前駆材料の開発による施肥機能部品開発と施肥装置の開発 ・リサイクルに関する研究開発 ・資源循環と高効率燃焼炉の開発
材料技術部		<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルによる研究開発 ・資源循環による施肥機能部品生産の育成と環境保全・淨化 ・バイオテクノロジー活用による印刷製版フィルムからボリエスチルと銀の連続分別回収システムの開発 ・低濃度NOx燃素系吸着剤による分離・濃縮及び光触媒機能による無害化
評価技術部		<ul style="list-style-type: none"> ・重金属排水を処理したイオン交換樹脂の再生化 ・重金属排水を処理したイオン交換樹脂の再生化における再資源化 ・コヒー一指出残渣及び浮渣の高濃度利用化における再資源化
府立農林技術センター	環境部	<ul style="list-style-type: none"> ・農業汚染防除調査事業 ・農業汚染留型栽培基準説定調査事業 ・環境保全型土壌管理対策推進事業 ・農用地の水土保全研究 ・農業用地下水質保全対策事業 ・市街地の土壤改良技術の確立 ・都市近郊林の保全方法 ・野生動物に係る森林被害防除法の確立並びに生息数推移予測モデル ・林業技術体系化調査 ・地図によるスギ等花粉生産の特性調査 ・酸性雨等森林被害モニタリング調査 ・酸性雨・酸性霧に係る基礎調査
栽培部		<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型水耕栽培技術 ・エコカラチャーシステムによる高品質特産野菜生産技術開発 ・生分解性プラスチック農業用資材の実用化研究
畜産部		<ul style="list-style-type: none"> ・畜舎内悪臭防止技術の確立
府立 大字 学校 工学講座	工 学 部 工 程 熱流体 環境工学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・有害排出物低減を目指した燃焼技術確立に関する研究 ・東アジア地域を対象とした酸性物質の長距離輸送解析と制御 ・静止した安定な密度成層流体中の排出流の挙動に関する基礎的研究 ・光子線を用いた抗体中での濃度測定法の開発 ・複数地形上の流れに関する研究 ・静電気による有害汚染物質の分解、除去の研究 ・低濃度アズマによる有害汚染物質(N₂O, N₂O₃)の完全除去に関する研究 ・工場内外汚染物質の除去に関する研究 ・低濃度アズマによる有害ガスの高濃度化に基づく高効率分解処理システムの研究 ・静電流法による研究
電子物理工学科		<ul style="list-style-type: none"> ・大気圧クロード放電を用いた高効率CO₂分解と資源回収 ・大気圧アズマによるプロンガスの分解

機関名	担当課	研究テーマ
府立大学	海洋システム 海洋環境計画 講座	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋の空(うつろ)による水質浄化システムに関する研究 ・大阪湾内の環境シミュレーションによる水質浄化システムの開発と実証的研究 ・リモートセンシングを用いた環境監視の計測方法の開発に関する研究 ・海流重力流の発達過程の予測と動態 ・成層流体中を進行する海流運動の発達過程の予測に関する研究 ・表面冷却による海流運動の発達過程の予測に関する研究 ・大阪湾域における環境監査と環境管理システムの構築 ・港湾物の海上処理を用いた環境監査の効率性に関する研究 ・港湾物の海上処理を用いた環境監査の効率性に関する研究 ・大阪湾内流の予測と制御 ・船舶の省エネ系によるガスの削減 ・生態系モデルを用いた人工環境の水質浄化機能の解明 ・大型浮体構造物による海流改修手法の研究 ・海上構造物処理及び防護船の航路確保特性の研究 ・緊張作用式海中トンネルの波浪応答性の研究
海洋利用 システム講座	海洋利用 工芸学研究室	<ul style="list-style-type: none"> ・大気中のイオンおよび微小エアロソル粒子の帯電特性の計測 ・合成高分子化合物の微生物分解及び活性炭素繊維による染色排水中からの染料の吸着 ・キトサンの分離・回収 ・キトサン糖脂質の分離・回収 ・キトサン糖脂質の分離・回収 ・化学吸着による重金属イオンの分離・回収 ・排水中の有機酸、金属等の除去法による分離・回収 ・溶媒抽出法・液膜法による地熱水からのリチウムの濃縮回取 ・ゼロエミッションを目指した物質循環プロセスの構築 ・廃棄物からリシン酸の製造
化学生物工学科 講座	(微生物) (反応工学) (分離工学) (生物) プロセス基礎講座	<ul style="list-style-type: none"> ・浮遊粒子状物質の粒子個数濃度測定および粒径分布測定 ・大気中のイオンおよび微小エアロソル粒子の帯電特性の計測 ・合成高分子化合物の微生物分解及び活性炭素繊維による染色排水中からの染料の吸着 ・キトサンの分離・回収 ・キトサン糖脂質の分離・回収 ・キトサン糖脂質の分離・回収 ・化学吸着による重金属イオンの分離・回収 ・排水中の有機酸、金属等の除去法による分離・回収 ・溶媒抽出法・液膜法による地熱水からのリチウムの濃縮回取 ・ゼロエミッションを目指した物質循環プロセスの構築 ・廃棄物からリシン酸の製造 ・微生物による硫化水素の処理 ・微細藻によるバイオソーシャンと伴水処理 ・バイオレムディエーションによる有機塩基化合物の浄化 ・微生物処理を活用した低濃度負荷型の金属資源の回収 ・資源の発生防止への光合成細菌の応用 ・硫化水素のバイオ利用処理 ・不均一液相を利用したガス吸収 ・容器包装廃棄物の発生抑制と住民意識調査 ・ごみの組成分析とごみの発熱量の測定 ・粉体プロセスのリサイクルシステムの開発 ・充電式チロールの開発
資源工学科 講座	(資源工学) グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物による硫化水素の処理 ・微細藻によるバイオソーシャンと伴水処理 ・バイオレムディエーションによる有機塩基化合物の浄化 ・微生物処理を活用した低濃度負荷型の金属資源の回収 ・資源の発生防止への光合成細菌の応用 ・硫化水素のバイオ利用処理 ・不均一液相を利用したガス吸収 ・容器包装廃棄物の発生抑制と住民意識調査 ・ごみの組成分析とごみの発熱量の測定 ・粉体プロセスのリサイクルシステムの開発 ・充電式チロールの開発
機能物質科学科 講座	機能物質化学会 講座	<ul style="list-style-type: none"> ・廃熱過程における酸化還元反応 ・酸性雨水が酸性雨の生成機構の解明 ・環境水中の汚染物質の測定と動態 ・有機酸化合物の酸性雨水溶解度の測定と動態 ・酸性雨水による金属資源の調査 ・プロトンによる金属資源の調査 ・石油代替燃料による新しい大気汚染に関する研究 ・地理情報システムによる農業用施設の最適化システムの構築

機関名	担当課	研究テーマ
府立大学	応用化学科 (資源工学) プロセス基礎講座	<ul style="list-style-type: none"> ・原子スペクトル分析による自然環境中の微量元素の定量 ・環境計測・予測センサーを用いた地盤学関連試料の年代測定と考古学的研究 ・天然気ミクロン光触媒による二酸化炭素と水からのメタノールやメタン生成をを目指した人工合成反応 ・活性炭やセオライトによる有機物質の分解酵素との組合せによる表面活性作用を用いた水中の有機物質の分解酵素の開発 ・セオライト網孔内に構築した網(1)や網(1)イオンを光触媒とする常温での酸化反応で創製した2世代の酸化酵素(NOX)の資源と酸素への直接作用による酸化反応に関する研究 ・T1、V、Mを骨格に組み込んだゼオライトを光触媒とする常温での酸化酵素(NOX)の資源と酸素への直接作用による研究 ・PVC及び陰燃性の機能材料への直接変換によるC1資源の活用と地球温暖化防止 ・二酸化炭素の機能材料への直接変換による研究 ・浮遊粒子状物質の粒子個数濃度測定および粒径分布測定 ・合成高分子化合物の微生物分解及び活性炭素繊維による染色排水中からの染料の吸着 ・キトサンの分離・回収 ・キトサン糖脂質の分離・回収 ・キトサン糖脂質の分離・回収 ・化学吸着による重金属イオンの分離・回収 ・排水中の有機酸、金属等の除去法による分離・回収 ・溶媒抽出法・液膜法による地熱水からのリチウムの濃縮回取 ・ゼロエミッションを目指した物質循環プロセスの構築 ・廃棄物からリシン酸の製造 ・微生物による硫化水素の処理 ・微細藻によるバイオソーシャンと伴水処理 ・バイオレムディエーションによる有機塩基化合物の浄化 ・微生物処理を活用した低濃度負荷型の金属資源の回収 ・資源の発生防止への光合成細菌の応用 ・硫化水素のバイオ利用処理 ・不均一液相を利用したガス吸収 ・容器包装廃棄物の発生抑制と住民意識調査 ・ごみの組成分析とごみの発熱量の測定 ・粉体プロセスのリサイクルシステムの開発 ・充電式チロールの開発
資源工学科 講座	(資源工学) グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物による硫化水素の処理 ・微細藻によるバイオソーシャンと伴水処理 ・バイオレムディエーションによる有機塩基化合物の浄化 ・微生物処理を活用した低濃度負荷型の金属資源の回収 ・資源の発生防止への光合成細菌の応用 ・硫化水素のバイオ利用処理 ・不均一液相を利用したガス吸収 ・容器包装廃棄物の発生抑制と住民意識調査 ・ごみの組成分析とごみの発熱量の測定 ・粉体プロセスのリサイクルシステムの開発 ・充電式チロールの開発
機能物質科学科 講座	機能物質化学会 講座	<ul style="list-style-type: none"> ・廃熱過程における酸化還元反応 ・酸性雨水が酸性雨の生成機構の解明 ・環境水中の汚染物質の測定と動態 ・有機酸化合物の酸性雨水溶解度の測定 ・酸性雨水による金属資源の調査 ・プロトンによる金属資源の調査 ・石油代替燃料による新しい大気汚染に関する研究 ・地理情報システムによる農業用施設の最適化システムの構築

機関名	担当課題	研究テーマ
府立大学 (総合環境計画 工学)	・総合環境整備におけるワークショップ方式の課題と方向性 -たため地 小学校のアシスタント導入による環境教育との連携のあり方について ・阪神淡路大震災を契機とした河川空間の意義や役割と今後の整備課 題 ・大阪市の公園空地における空地および緑地の供給性に関する研究 ・ランダムサットT Mデータを用いた大阪市における緑地と表面温度 との関係に関する研究 ・道路県境における山並みの生かし方にに関する研究 ・大阪府の公園緑地体系に関する歴史的考察 ・近自然緑化植物のデザインの実験環境と生理特性 ・人工地盤の構成物種の評価法の開発 ・人工地盤のり面の緑化手法 ・ダム湖岸地帯におけるオープンベースの集積による環境保全効果 ・核心業務地区における火災後の復興 ・火災、淡路大震災後の緑環境から捉えた復興まちづくりの課題と方 向性 ・居住者の日常風景に対する嗜好性と地区的歴史的蓄積との関わりに について ・千里ニュータウンの時間経過に伴う居住者特性の変化に対応した屋 外環境整備の課題 ・農業、農村の環境創造に関する研究 ・地域資源土壌における環境問題 ・農業、農地の環境評価に関する研究	・環境計画学 (総合環境計画 工学)
(総合環境 保全学)	・人工地盤の構成物種の評価法の開発研究 ・人工地盤のり面の緑化手法 ・ダム湖岸地帯における火災後の復興 ・核心業務地区における火災後の復興 ・火災、淡路大震災後の緑環境から捉えた復興まちづくりの課題と方 向性 ・居住者の日常風景に対する嗜好性と地区的歴史的蓄積との関わりに について ・千里ニュータウンの時間経過に伴う居住者特性の変化に対応した屋 外環境整備の課題 ・農業、農村の環境創造に関する研究 ・地域資源土壌における環境問題 ・農業、農地の環境評価に関する研究	・環境保全学 (総合環境 保全学)
(地域生態工学) (総合資源 管理)	・農業、農村の環境創造に関する研究 ・地域資源土壌における環境問題 ・農業、農地の環境評価に関する研究	・地域生態工学 (地域生態工学)
応用生物化学生 物分子生物学 (応用生物学 物理化学)	・化学物質の生態影響評価法の確立 ・農業汚染がもたらす土壤微生物活性への影響に関する研究 ・生の微生物処理において得られる小麦粉の食品への利用について ・小麦粉の分級技術により得られる小麦粉の品質研究、リシガ合物の有効利 用	・応用生物学 (応用生物学 物理化学)
(食品素材化 生体機能化 資源開拓工学)	・ラジカル生成能改変による水中窒素、リシガ合物の有効利 用 ・微生物殺虫剤の開発と改良 ・ユスリカ殺虫剤の開発 ・セルロース性農業用による脱色 ・光合成微生物による大気脱離ガスの低減化 ・バイオマスの高密度利用 ・藻類ストレスマ応答	・食品素材化 (食品素材化 生体機能化 資源開拓工学)
細胞機能化 (発酵制御化学)	・有機化合物生物学分野を担う新機トランスポンの解析と利用 ・ゴル基膜上膜蛋白質の機能生物学的分析 ・アンモニア酸化細菌に關する研究 ・植物のCO ₂ 固定化能改変によるCO ₂ 固定促進反応について ・高等植物における抗寒性ストレスに対する研究 ・植物の土壤環境に対する抗寒性ストレスに対する研究 ・植物のMn吸収機構の分子生物学的解明と選別およびMn耐性 ・豆科植物の根粒菌との共生菌素固定の有効利用による窒素施肥の軽減 ・豆科植物吸収機能を導入した植物による環境亞硝酸汚染の除去と再利 用	・細胞機能化 (細胞機能化 (発酵制御化学))
(土壌植物 栄養学)	・植物の土壤環境に対する抗寒性ストレスに対する研究 ・植物のMn吸収機構の分子生物学的解明と選別およびMn耐性 ・豆科植物の根粒菌との共生菌素固定の有効利用による窒素施肥の軽減 ・豆科植物吸収機能を導入した植物による環境亞硝酸汚染の除去と再利 用	・土壌植物 (土壌植物 栄養学)
生体分子化学 (生物制御化 学)	・高等植物における抗寒性ストレスに対する研究 ・植物の土壤環境に対する抗寒性ストレスに対する研究 ・植物のMn吸収機構の分子生物学的解明と選別およびMn耐性 ・豆科植物の根粒菌との共生菌素固定の有効利用による窒素施肥の軽減 ・豆科植物吸収機能を導入した植物による環境亞硝酸汚染の除去と再利 用	・生体分子化学 (生物制御化 学)

機関名	担当課	研究テーマ
府立大学	歯医学科 総合科学部 自然環境化学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染物質の発癌性及び遺伝毒性 ・山地溪流の様地所構造と動物群集の様式 ・若智湖沿岸域の構造と動物群集の空間配置 ・ロシード河川の構成生態と河川動物の場所利用方式 ・自然河川における河川環境の役割 ・小生尾虫群の生活史を基にした河川環境の利用様式 ・平地大規模河川のエコモデル（生物多様性、ハイビオーム）の構築 ・ヨウジヨバエ野外叢園におけるトランスポン（動き回る遺伝子）の意義 ・里山の保全生物学
先端科学研究所 放射線物理学 研究分野	研究分野 AIソートアーバ 利用研究分野 人工生体 生物資源開発 セントラル セイチ	<ul style="list-style-type: none"> ・大気エアロゾルの物理的・化学的形状測定システム開発と多要素情報解釈による生成由来解明法確立 ・PIXE法による環境物質及び人体検査元素の動態学的研究 ・アシラーラン藻水系の改良と水処理・エネルギー源としての利用 ・水域環境材料用ポリアミノ酸に関する研究 ・より安全かつ効果的な香料品防腐剤の開発 ・光ダイオードによる簡易瞬間での皮膚ガスセンシング系の確立 ・荒廃地の緑化工法の開発と評価 ・環境汚染の生態影響評価のための基礎研究